

# 豊川小だより

10月号

令和5年10月1日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

豊川小ホームページ

<https://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/toyokawa/index.html>

ホームページ

QRコード



## 思いが形に そして行動へ ～環境展を起点にして～

校長 中村 順子

「自分たちの思いが、目に見える形になる」。子供たちにとって、それが叶うのであれば、きっと何よりの喜びとなり、今後の意欲につながります。昨年度に引き続き、9月30日（土）に本校で開催された「北区環境展」は、6年生にとって大変貴重な機会となりました。

30日当日の午前中は、北区環境課、北区環境大学、また区内外のNPO法人や事業所の皆様が、校庭や教室にて各学年に出前授業をしてくださり、全校で環境についての体験学習を行いました。もの作りやクイズ、観察会などのブースにて、体験したり考えを深めたりしたことで、子供たちは身近なことを通して楽しみながら、環境についての意識を高めることができました。

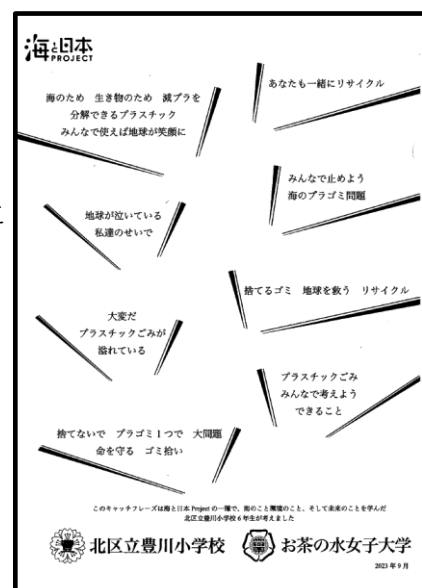
午後は、やまだ区長のご臨席を賜り、励ましの言葉を頂いた後、6年生による体育館でのステージ発表「自然環境を考えたプラスチックとの付き合い方」のプレゼンテーションを行いました。体育館のフロアには、豊川小の各学年、そして区内の小学校の児童が調べ学習を行った作品が並んでいます。その中で、保護者・地域の方には直接、また3～5年生にはオンラインで、自分たちの提言を堂々と発表しました。

6年生の学習は、総合的な学習の時間を使って学習を進めてきた内容をテーマに設定して進めてきました。今回の学習は、お茶の水女子大学の 里 浩彰 先生のサポートを頂きながら、「海と日本プロジェクト」の一環として、マイクロプラスチックがもたらす海洋汚染を減らすために、今の自分たちに何ができるか考えていく内容です。学習を進めていくうちに、里先生のご尽力のおかげで、海洋プラスチック削減に取り組んでいる（株）カネカのご担当者様ともつながることで、「自分たちが考えた提言をカネカの商品開発に生かす」という活動も行いました。すると、カネカのご担当者様のご厚意で、自然に優しい素材で作られたクリアファイルに、自分たちの提言キャッチフレーズを入れていただくことができました。「自分たちの思いが形になる」、そのような貴重な体験をした6年生でした。クリアファイルは全校児童の手元にも届き、数に限りはありましたが、当日来場いただいた地域の皆様にもお配りしました。きっと6年生児童の思いは、ご来場の方々にも届いたのではないのでしょうか。

「形になったら、次は行動に移す」。これが未来へと生きていく子供たちに与えられた、次の使命です。また、次世代を担う子供たちが、環境展を通して自分の周りの環境に関心を持ち、自分でできることを考えて行動する人間になってもらえるように見守り育てていくこと、これは今の時代に生きる私たち大人の役割であると思います。

環境展に関わってくださった全ての皆様に、この場を借りて心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

\*



豊川小学校は、10月19日が開校記念日です。明治8年10月19日に、現在の紀州神社（北区豊島7丁目）の観音堂にて開校して以来、今年は創立148周年、区内でも最も歴史のある学校の一つです。

再来年度の150周年という大きな節目に向けて、引き続き、子供たちの笑顔を大切にする学校、地域の皆様に愛される学校を目指してまいります。ご協力をよろしくお願い致します。